



映画「1492」(米・仏・西・1992年製作)  
(サンサルバドル島に)  
到着した場面



Ⓛ サンタ・マリア号  
全長約26m、全幅約8m  
185t(船体規模は諸説あり)



Ⓛ コロンブス (1451~1506)

ジェノヴァ生まれ。地球球体説を信じ、スペインのイサベル女王の支援でインドをめざした。



Ⓛ ヴァスコ・ダ・ガマ (1469頃~1524)

ポルトガル人。喜望峯を回りインドに到達し、インド航路を開拓した。

苦しかった当時の航海

船員の病死の多くはビタミン不足による壊血病だった。当時の探検隊には、ならず者が囚人が罪の軽減の約束で加わることが多く、航海中の反乱もしばしばあった。

航海者	出発時	帰国時
コロンブス	3隻 90名(1492.8)	1隻40名(1493.3)
ヴァスコ・ダ・ガマ	4隻170名(1497.7)	2隻55名(1499.9)
マゼラン	5隻265名(1519.9)	1隻18名(1522.9)



インド洋側

大西洋側

喜望峯



## 2 「大航海時代」の推移

### 背景

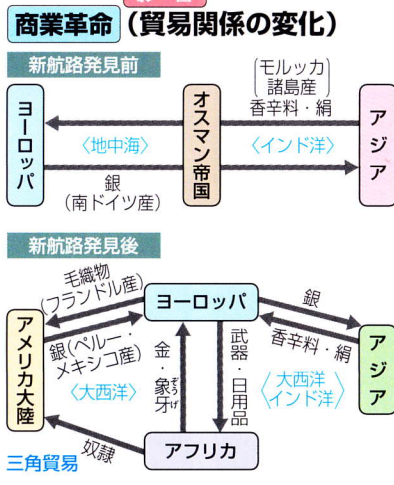
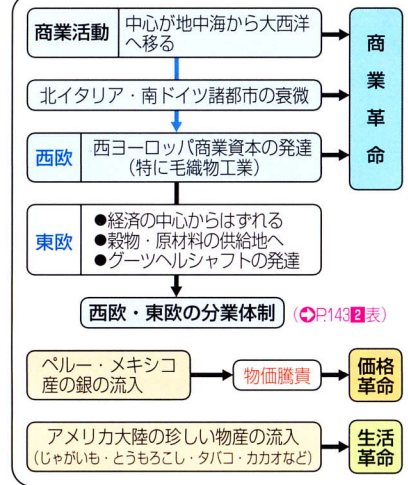
- 経済…香料の需要増大、東方貿易の不安定(オスマン帝国の東地中海進出)
- 政治…中央集権国家の形成と国王の援助(領土・黄金への欲求)
- 文化…東方への関心(マルコ=ポーロ『世界の記述』) (P.87) **羅針盤**
- 宗教…カトリックの拡大(プレスター=ジョンの伝説) 大洋への航海を可能にした。
- 科学…地球球体説・羅針盤・航海術の発達



### 歩み

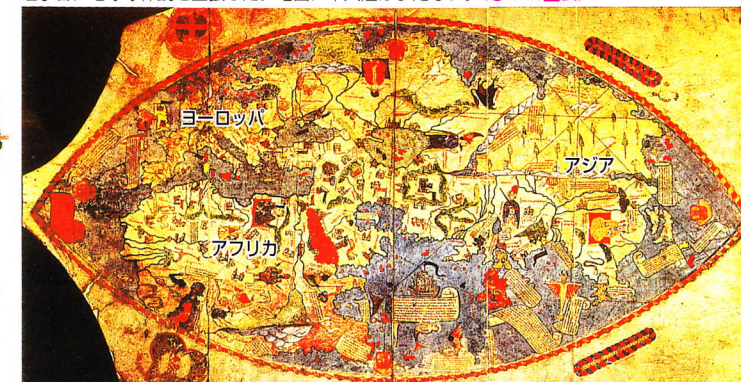
アメリカ大陸への進出	アジアへの進出
1492 コロンブス、サンサルバドル到達	1415 エンリケ航海王子、セウタ攻略
1494 トルデシヤ条約(教皇の分界線はスペインに有利であったため、ポルトガルの異議により変更)	1431 ポルトガル人、アゾレス諸島到達
1497 カボット、英王ヘンリ7世の命によりグリーンランド・ニューファンドランドへ向かう	1481~95 ジョアン2世、インド航路開拓
1500 カブラル、ブラジル漂着	1488 バルトロメウ=ディアス、喜望峰到達
1501 アメリゴ=ヴェスプッチ、南米調査	1498 ヴァスコ=ダ=ガマ、カリカット到達
1513 バルボア、パナマ地峡を横断し太平洋発見	1509 ディウ沖海戦(ポルトガルの勝利)
1519~22 マゼラン(マガリャンイス)一行、世界周航	1510 ポルトガル、ゴア占領
1521 コルテス、アステカ王国(メキシコ)征服	1511 ポルトガル、マラッカ占領
1529 サラゴサ条約(スペイン・ポルトガルのアジアでの領土分界線設定)	1517 ポルトガル人、広州到達
1533 ピサロ、インカ帝国(ペルー)征服(最後の皇帝アタワルパを処刑)	1518 ポルトガル、セイロン占領
1545 ボトシ銀山開く	1521 マゼラン、フィリピン諸島のマクタン島で住民に殺される
1577 ドレーク、世界周航出発(~80)	1543 ポルトガル人、種子島漂着
1584 ウォルター=ローリー、ヴァージニア植民地建設(~86)……失敗	1550 ポルトガル船、平戸に到着
1585 ドレーク、西インド諸島に遠征	1557 ポルトガル人、マカオ居住権を得る
	1571 スペイン、マニラ建設
	ポルトガル船、長崎に到着
	1600 イギリス、東インド会社設立

### 影響



## 3 当時の世界認識

**トスカネリの世界地図** トスカネリ(1397~1482 伊)は天文・地理学者。地球球体説を主張した。地図に米大陸はまだない。(P.126表)



**マルティン=ベハイムの地球儀** 1492年製作で、現存する最古の地球儀。中国や日本が想像で描かれている。

### 異文化との出会い — コロンブスとマゼラン — マゼラン(1480頃~1521)

コロンブスは1492年10月12日、バハマ諸島のサンサルバドル島に到達した。彼はインディオたちを美しい体つきの善良で従順な人間だと記している。ポルトガル人のマゼランはスペイン王カルロス1世の援助で1519年8月セビリャを出発。南アメリカ南端(マゼラン海峡)を通り、1521年フィリピンに到達。住民の争いに加担し、4月27日、マクタン島でラブラブ王に殺された。



十字架を立てて領有宣言するコロンブス一行

マゼラン(右)と戦うラブラブ王(マクタン島での戦勝記念祭のようす)

**ボトシ銀山**(標高4178m) 1545年に発見されたアメリカ大陸最大の銀山。ボリビアのアンデス山中にあり、16世紀末には標高4000mの地に人口16万という巨大都市ができた。

